NAGRA CLASSIC Preamp

Class A tube stereo preamplifier

ナグラは、65年以上の歴史のある、スイスのオーディオメーカーです。

創業1951年

NAGRA

Audio Technology Switzerland

ナチスドイツがポーランド侵攻を開始、これに呼応してソビエトもポーランドを侵略しはじめた第二次世界大戦勃発前の1939年、のちにナグラを創業するステファン・クデルスキー(Mr.Stefan　Kudelski)青年は、家族と共にポーランドからアルプスを越えてスイス、ローザンヌに移住しました。ステファンは大戦後の1950年、ローザンヌ工科大学卒業制作にあたってポータブル型テープレコーダーの開発、製作を行いました。折りしもモーリス・エルゾーグ率いるフランスのヒマラヤ登山隊は、人類初の8000m登頂に挑戦することを決断、登頂隊に同行した仏国営放送局はクデルスキーが完成させたナグラ録音機を使って、海抜8000mの過酷な条件下で登頂隊の様子を録音し、その模様をフランス全土に放送したのでした。

高音質と動作の安定性によって高評価を得たポータブル型テープレコーダーは、ポーランド語で「録音する」という意味の「NAGRA」と命名され、クデルスキー社が誕生しました。レコーダーは進化し、防衛産業、映画制作、音楽制作などでも大活躍しています。NAGRA-IVにはグラミー賞、エミー賞、ゴールデングローブ賞が授与されたことは特筆して誇るべきクデルスキーグループの歴史です。

現在クデルスキー社はIT企業の大会社に成長しました。しかし創業者クデルスキー一族のオーディオに対する愛情は消えることなどなく高まっていきました。株主からの独立性を保つために、オーディオ部門は2013年、非公開会社、「オーディオ・テクノロジー・スイス」として独立しました。

その後の意欲的な製品開発を見ても、モントルー・ジャズ・フェスティバルの1967年から支援していることを見ても、音楽とオーディオに対するナグラの情熱がひしひしと伝わってきます。

Classicシリーズ

「音楽をあるがままの姿で再現する」、という開発姿勢は、長年ロケーション録音機※1を手がけてきたナグラだからこそ発言に説得力があります。デジタル録音とポータブルスタジオ※2で、現在もヨーロッパの放送局に録音、編集機を提供しているナグラですが、オーディオ再生には独自のスタンスで臨みます。クラシックシリーズは、極力妥協を排除し、品質を高く保ったまま価格を抑えることを念頭に設計したシリーズです。ナグラ独特の手法でコンパクトなボディーでありながら、高品質パーツを巧みに凝縮させ、ごく自然な楽器の音色と音楽演奏のリアリティーを再現します。

クラシックプリはクラシックシリーズのコンセプトに順じて、シンプルで高音質な音楽再生を求めるユーザーを念頭に開発しました。シリーズでサイズを統一し、見た目にも美しいナグラIV-Sを彷彿とさせるデザインとなっています。プリアンプの機能には、コントロールセンターと、使用機器とのシステムインターフェイスとしての役割とがあります。インプットされた音から何も失わずに、また使い勝手のよさからユーザーに寄り添うプリアンプを製作することは、録音現場を熟知するナグラならではの経験とノウハウの積み重ねがあったからこそ、完成されたのでした。

デジタルソースの静けさに見合う驚異的な低ノイズレベルを実現した管球式プリアンプです。回路はよりシンプルに、コンパクトに凝縮した上で、発熱、消費電力、動作面でも優れた安定性を実現しました。ナグラ社謹製のラインドランスを搭載することにより、バランス入力、バランス出力回路もオプションで装備出来ます。プラス側とマイナス側とが完全に対称的に独立してしかも隔離された信号を送り出します。接続機器とのインピーダンスが整合され、電磁波の侵入が防がれているために、正確でナチュラルな音質と精緻なサウンドステージとが再現されます。このラインドランス本体は、精度を期してナグラ社伝統の精密捲き線技術によって作られた逸品です。

回路を構成する基板は厳格な管理下で製造されたMIL規格※3この注訳によって読み難くなる場合は注訳不要ですの金メッキ・ガラスエポキシ4層基板を採用。グランドプレーン層※4を設けて、ノイズ、電磁波、スタティックループが排除されます。有害な振動、共振を排除するために、基板は防振材を介してシャーシに取り付ける、という念の入りようです。

パーツも音質を最優先させて採用しました。一例は、SCR社製(仏)にナグラの規格で特注したポリプロピレンコンデンサーがあります。これをデカプリングコンデンサーとして、また回路中段のコンデンサーとして搭載しています。慎重に選別された双三極管を使用し、独自の回路を突き詰め、広い周波数帯域と位相のリニアリティーを得ることができました。電源はチャンネルごとに分離されているために、リアリスティックなサウンドステージが得られます。

ダウンロード、ストリーミング、オンデマンドライブなど、新フォーマットを含め多様化した音楽ソースに対応するために、出力ゲインはフロントパネルスイッチで0dBまたは+12dBを選択できます。ゲイン0dBではパッシブプリアンプのように動作しますが、入力トランスを使用したバランス回路は外部ノイズに対する遮断/隔離特性を向上させることが出来ました。

メイン回路には入力選択、リモコン機能、ミュート、モジュロメーターによる出力信号表示などを管理するマイクロプロセッサーが装備されており、機能性が高くしかも使っていて楽しい、ユーザーフレンドリーなプリアンプとなりました。電源投入時から20秒ほど遅延してから真空管に到達する高電圧電源ソフトスタート回路によって、大切な真空管が守られます。

ECC83双三極管、差動トポロジー、トランジスターから構成される初段の回路構成は、真空管の安定的な動作を保証します。増幅に関連する第二段はECC81三極管にその動作を委ねています。フロントパネルのボリューム調節ノブの左下に、0dBまたは+12dBのゲイン切り替えスイッチがあります。これは他社製のパワーアンプと組み合わせた場合の、音量調整をスムーズで容易にするための配慮です。

パワーサプライ

内部のメインパワーサプライはクラシックDACと同様にAC電源を直接入力します。フィルタリングを徹底したために、パフォーマンスを犠牲にしたようなことはありませんが、より純粋な音質をお望みのユーザーには、ナグラMPSパワーサプライなどの外部PS用にLemo端子入力も装備しました。

フロントパネルはナグラ伝統のデザインです。フロントパネルに液晶スクリーンを配置、使用機器に合わせた入力名称もインプットできます。ナグラのアイデンティティーとなったモジュロメーターは出力レベルを表示します。

ナグラクラシックシリーズはすべて同一のパネルサイズに揃えているので、スタック使用が可能でトータルデザインとしても大変魅力的なシステムになりました。また、VFS共振排除システムを使用するとさらなる音質向上が期待できます。

コントロールセンターとして、ユーザーに寄り添うプリアンプ、クラシックプリは、漆黒のバックグラウンドからナチュラルな響きを再現し、一音一音の粒子から、音楽を組み立てて雄大に再現します。録音現場のプロ集団からすべての音楽愛好家へ捧げる、自然で心に染み入る音質こそ、クラシックプリの誕生/存在理由なのです。

※1. 音楽録音の現場用、野外用の録音機
※2. 現場中継報道用のバンなどに組み込んだ移動スタジオなど
※3. Militaly Specification/Standard
※4. 信号が流れる層の間にグランド層はさみ信号層を極力隔離させ干渉やノイズの飛び込みを防ぐ

Technical Specifications

周波数特性	10Hz – 50kHz (+0 / −0.5dB)
ダイナミックレンジ	125 dB 以上(Gain at +12dB)
最低入力レベル	0dB (meter)　0.28Vrms (Gain at +12 dB)
最大入力レベル	reach 0 dB (meter)　25Vrms (Gain at 0 dB)
クロストーク	85 dB以上
歪み率 (THD)	0.01%以下(@1 kHz out, no load)
入力インピーダンス	50kΩ
出力インピーダンス	6Ω
真空管　(ナグララボにて選別)	2×12AX7 / ECC83、1×12AT7 / ECC81

消費電力	1040 mA
消費電力 (スタンドバイ時)	10mW 以下
AC電源	100V 50、60Hz
入力端子	XLR　RCA 1 to 4
出力端子	2×XLR、1×RCA
外形寸法	277 (W) × 76(H) × 379 (D) mm
重量	4.9Kg

TAIYO INTERNATIONAL,INC.
IASJ International Audio Society of JAPAN
株式会社 太陽インターナショナル
〒103-0027 中央区日本橋2-12-9 日本橋グレイス1F
www.taiyo-international.com